

## 第 45 回 ゆうちょアイデア貯金箱コンクールについて

### 1 目的

貯金箱の作製を通じて、次代を担う子どもたちの造形的な創造力を伸ばすとともに、貯金に対する関心を持っていただくことを目的として開催しており、1975 年の第 1 回開催以来、今回で 45 回目を迎える歴史あるコンクールです。

### 2 応募期間

2020 年 9 月 1 日(火)から 2020 年 9 月 30 日(水)まで

### 3 応募学校総数および参加作品総数

○応募学校総数： 8,536 校

○参加作品総数： 298,593 点

今年度は新型コロナウイルスの影響を受けながらも、子どもたちの創作意欲と先生方、保護者の皆さまをはじめとする多くの方々を支えられ、約 30 万人の子どもたちにご参加いただきました。

(参考：応募状況の推移)

	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
参加児童数 (人)	796,917	770,084	758,820	718,593	298,593
応募小学校数 (校)	11,227	11,026	10,834	10,704	8,536
(参考)全国小学校数 ※	19,943	20,095	19,892	19,738	19,526
応募小学校数割合 (応募小学校数/全国小学校数)	56.3%	54.9%	54.5%	54.2%	43.7%

※ 文部科学省「学校基本調査 令和 2 年度 (速報)」から引用・計算 (2020 年 8 月 公表値)

### 4 審査

- (1) 一次審査 (2020 年 10 月)  
学年ごとに応募作品の審査を行い、240 点を選定。
- (2) 最終審査 (2020 年 12 月 9 日 (水))  
一次審査で選定した 240 点の各賞を決定。

なお、審査は、後援団体関係者、協力団体関係者、教育関係者、美術専門家および主催者によって厳正に実施いたしました。

【最終審査員】 (敬称略)

こばやし 小林	やすよ 恭代	(文部科学省 初等中等教育局 教科調査官)
みの 蓑	ゆたか 豊	(兵庫県立美術館 館長)
ながはま 長濱	まさひこ 雅彦	(東京藝術大学 美術学部 教授)
ゆうき 結城	まさこ 昌子	(アートディレクター・エッセイスト)
しのはら 篠原	かつり 勝則	(日本郵便株式会社 改革推進部長)
しんむら 新村	まこと 真	(株式会社ゆうちょ銀行 常務執行役)

## 5 入賞者数

	小学校 1年生の部	小学校 2年生の部	小学校 3年生の部	小学校 4年生の部	小学校 5年生の部	小学校 6年生の部	計
文部科学大臣賞	1点	1点	1点	1点	1点	1点	6点
ゆうちょ銀行賞	1点	1点	1点	1点	1点	1点	6点
ゆうびんきょく賞	1点	1点	1点	1点	1点	1点	6点
審査員特別賞	3点						3点
すてきなデザイン・アイデア賞	219点						219点
計							240点

## 6 寄附の実施

○寄附金総額：7,000,000円（文房具2万点を含む）

ご参加いただいた作品1点につき10円を寄付することとしていましたが、今年度は新型コロナウイルスの影響から参加者が減少したため、ゆうちょ銀行から、文房具2万点を含む7,000,000円を公益財団法人日本ユニセフ協会、独立行政法人国際協力機構（JICA）および公益財団法人ジョイセフに寄附いたします。

寄附金は開発途上国で貧困や病気に苦しむ子どもたちのための支援活動などに役立てられます。

## 7 入賞作品展示会の開催

入賞作品240点については、全国7カ所で開催する展示会で展示します。  
詳細は、別紙3をご覧ください。

以上